

(3) 地域整備事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用	純損益又は 実質収支	職員給与費	総費用に占める 職員給与費比率	(参考) 21年度の総費用に占 める職員給与費比率
	A		B	B/A	
22年度	千円 299,194	千円 163,940	千円 64,499	% 21.6	% 5.5

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
22年度	8	千円 32,293	千円 7,334	千円 12,740	千円 52,367	千円 6,546

(参考)都道府県平均 一人当たり給与費
千円 7,007

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、平成23年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

- ・給料等の減額措置の状況については以下のとおりです。(平成23年4月1日現在)
○ 一般職員管理職手当 5~3%削減

② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況(平成23年4月1日現在)

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
宮城県	41.8 歳	376,448 円	545,490 円
都道府県平均	42.1 歳	377,914 円	583,906 円

- (注) 1 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

宮城県企業局(地域整備事業)		宮城県(一般行政職)	
1人当たり平均支給額(22年度)		1人当たり平均支給額(22年度)	
1,593 千円		1,691 千円	
(22年度支給割合)		(22年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
2.60 月分	1.35 月分	2.60 月分	1.35 月分
(1.45) 月分	(0.65) 月分	(1.45) 月分	(0.65) 月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置		職制上の段階、職務の級等による加算措置	
・役職加算 5~20%		・役職加算 5~20%	
・管理職加算 15~25%		・管理職加算 15~25%	

- (注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当(平成23年4月1日現在)

宮城県企業局(地域整備事業)			宮城県(一般行政職)		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.5 月分	30.55 月分	勤続20年	23.5 月分	30.55 月分
勤続25年	33.5 月分	41.34 月分	勤続25年	33.5 月分	41.34 月分
勤続35年	47.5 月分	59.28 月分	勤続35年	47.5 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置(2%~20%加算)		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置(2%~20%加算)	
1人当たり平均支給額	- 千円	- 千円	1人当たり平均支給額	4,177 千円	26,655 千円

- (注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成22年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当(平成23年4月1日現在)

支給実績(22年度決算)		1,387 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)		173,391 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度(支給率)
仙台市	4.5 %	8 人	4.5 %
上記以外の県内市町村	1.5 %	0 人	1.5 %

オ 時間外勤務手当

支給実績(22年度決算)	3,554 千円
職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)	508 千円
支給実績(21年度決算)	576 千円
職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)	288 千円

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

カ その他の手当 (平成23年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績(22年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)
管理職手当	管理・監督の地位にある職員のうち、企業職員給与規程で指定するものに支給	同じ		477 千円	477,448 円
扶養手当	1 配偶者 13,000円 2 配偶者以外の扶養親族 1人につき6,500円(職員に配偶者がいない場合は、そのうち1人について11,000円) *扶養親族である子のうち、満15歳に達する日後の最初の4月1日から満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子1人につき5,000円加算	同じ		840 千円	280,000 円
通勤手当	1 交通機関等の利用者 ・1箇月当たりの運賃等相当額が55,000円を超えない場合 定期券又は回数券の価格(最も経済的かつ合理的なもの) ・1箇月当たりの運賃等相当額が55,000円を超える場合 55,000円+(55,000円を超える額/2)で65,000を限度 2 自動車等の使用者 ア 普通自動車等以外の自動車等使用者 使用距離(片道)により2,000円～24,500円 イ 普通自動車等使用者 使用距離(片道)により2,200円～33,000円	同じ		1,036 千円	129,468 円
管理職員特別勤務手当	特定管理職員(管理職手当支給職員)が、臨時又は緊急の必要等で週休日又は休日に勤務した場合に支給 支給額 勤務1回につき4,000円～12,000円	同じ		40 千円	40,000 円